

# あなたはどちらの国に生きるのか 失われた者Ⅵ

## 「実を結ぶこと 悔い改め」

ルカ13:1-6

### はじめに出てきた二つの動画

一つ目は、サングラスを後ろにかけている人がいます。サングラスを後ろにかけているのは、本来取り去るはずの光や紫外線を取りことができず意味がないのです。二つ目は、スイミングを習っている親子です。飛び込みを一生懸命教えるお父さん、娘もお父さんに言われることを覚えよと必死です。練習を終えて、いき飛び込むと「飛び込み」ではなく「飛び降り」いろいろな理由はあったはずだが失敗してしまいました。いいものを持っていても使わない人生や一歩踏み出せないがために正しいことができない人生これでは勿体ないのです。

### 勿体ないとは？

「勿体」は本来「物体」と書き、「もったい」と読むのは呉音。「物の形」「物のあるべき姿」和製漢語「勿体（もったい）」を「無し」で否定した語。勿体の「重々しさ」「威厳さ」などの意味から、もったいないは「妥当でない」「不届きだ」といった意味で用いられています。

### 悔い改めるとは

悔いて改めることは、ごめんなさいということと思うかもしれませんが違います。ごめんなさいだけでは何の意味もないのです。ごめんなさいと言ったのなら、改めなければいけません。人と人との関係でごめんなさいと伝えることはすごく大事です。人間関係、コミュニティを構築するためには自分が間違っていたのなら謝るすごく大事です。そして相手に許してもらい、これが和解です。ごめんなさいは和解をするための第一目的です。しかし、聖書はこの改めるといふ行為を重んじています。神様が願うのは改めることなのです。

### ルカが何を伝えようとしているか

- ①恐れなき信仰告白 (12:1-12)
- ②永遠の視点 (12:13-21)
- ③神の備え (12:22-34)
- ④人の子の再臨 (12:35-48)
- ⑤苦難の日の予告 (12:49-59)
- ⑥悔い改めの勧め (13:1-9)

⑦教えの正しさを証明するし (13:10-17)  
ルカは医者で、イエス・キリストをどういう意図と文脈で残そうとしたのかを論理的に考えています。  
①ルカは、エルサレムへの旅という枠組みの中に、種々の教えを配置している。  
②パリサイ人や律法学者によるイエスの拒否が、決定的になった。  
③拒否という現実の中で、弟子としていかに生きるべきかが教えられる。  
④クリスチャンは、霊的戦いに巻き込まれているのである。  
私たちが正しく生きようとする人々からたくさんの方で拒否されるのです。そうすると私たちは、その拒否に耐えられなくなって感情が爆発してしまいます。それが聖書は実を結ばない理由だと言っているのです。

### いちじくの木の例え

ルカ 13:6 イエスはこのようなたとえを話された。「ある人が、ぶどう園にいちじくの木を植えておいた。実を取りに来たが、何も見つからなかった。13:7 そこで、ぶどう園の番人に言った。『見なさい。三年の間、やって来ては、このいちじくの実のなるのを待っているのに、なっていたためしがない。これを切り倒してしまいなさい。何のために土地をふさいでいるのですか。』  
13:8 番人は答えて言った。『ご主人。どうか、ことし一年そのままにしてやってください。木の回りを掘って、肥やしをやってみますから。13:9 もしそれで来年、実を結ばばよし、それでもだめなら、切り倒してください。』

番人は一年待つてくだささいと言いました。その間に何をするとおっしゃるか→木の回りを掘って、肥やしをやります。この掘る作業は苦痛が伴います。掘ることでせつなく伸ばした根を切るからです。世の中の人は掘ることを拒みます。なぜかという自分には間違っていないからだと言い張ってしまうからです。私たちは考えなければいけません、自分の回りを掘り根に肥やしがかかるが、その肥やしを新たに吸収する根とは何かを。  
新たな根とは聞く耳です。私たちは聞きたくないのです。なぜ聞きたくないのか、それは自分のやり方を変えたくないと思っっているからです。私たちは今まで生きてきたやり方を変えたいと思っと思っています。神は言いました新たな根(聞く耳)を張り実を残しなさい。だから木の回りを掘って古い根(自分のやり方)を一度取り、新たに根が生えてきたところに肥やしを与えなさいと伝えたのです。

### 例えの原点

イザヤ 5:1「さあ、わが愛する者のためにわたしは歌おう。そのぶどう畑についてのわが愛の歌を。わが愛する者は、よく肥えた山腹に、ぶどう畑を持っていた。  
2 彼はそこを掘り起こし、石を取り除き、そこに良いぶどうを植え、その中にやぐらを立て、酒ぶねまでも掘って、甘いぶどうのなるのを待ち望んでいた。ところが、酸いぶどうができてしまった。

3 そこで今、エルサレムの住民とユダの人よ、さあ、わたしとわがぶどう畑との間をさばけ。

4 わがぶどう畑になすべきことで、なお、何かわたしがしなかったことがあるのか。なぜ、甘いぶどうのなるのを待ち望んだのに、酸いぶどうができたのか。  
5 さあ、今度はわたしが、あなたがたに知らせよう。わたしがわがぶどう畑に対してすることは、その垣を除いて、荒れすたれるに任せ、その石垣をくずして、踏みつけるままにする。

6 わたしは、これを滅びるままにしておく。枝はおろさず、草は刈られず、いばらとおどろが生い茂る。わたしは雲に命じて、この上に雨を降らせない。」  
イザヤ書がイエスの例え話の原点になったと言われています。ぶどう酒を作るためにぶどうを植えました。しかし、収穫したぶどうは甘いぶどうができませんでした。何か問題なのか分かりますか？ぶどう酒を作るためにぶどうを植えたのに甘くないぶどうができて、糖分がないので乳酸発酵しなかったのです。乳酸発酵しないということはアルコールができないのでぶどう酒にならないってということなのです。

この話の例えは、ぶどうができたとしてもそこに大切な原料である糖分がなければ、本来作ろうと思ったものができない、これを人に言い換えるとその人が本来果たす役割だったものが果たせなくなると言っているのです。イエスがわざわざイザヤの例え話を使って説明したのは、いちじくはイスラエルの民を象徴していたので彼らはいちじくと言われて、この話はぶどうをいちじくに代えられたことで自分たちのことを言われていると分かったのです。私たちは言われた時にどうするかなんです。皮肉っぽく感じても、そうだと私はこのぶどうの例えのように実を甘くすることを頑張らなきゃいけないと思返すか。皮肉と取り聞く耳を持たないか。

あなたはどちらを選びますか？私たちの問題は心の頑なさなのです。聖書がずっと教えていることは私たちの心を怖くしてはならないと言っています。聖書はあなたの人生を喜びを持って生きられるようにしています。時には根を掘り起こして痛みを負うこともあるがそれは、実を結ぶためであり、滅びないためなのです。

### アンデルセン

ニューヨークタイムズ掲載「子どもを育てるときの5つのパッドな言葉」

- ① どうしてお前を産んだのかわかんない！
- ② どうして他の友達のように出来ないの？
- ③ 一体何歳なんだ？ ④ この馬鹿！ ⑤ うるさい。こまらすなみなさんは言っていないませんか？

神様はいつもこの反対のことを私たちに言っています。

- ① あなたをどう創造したのかを知りなさい
- ② あなたには計画がある将来と希望を与える計画であり特別な存在だ
- ③ キリストのみたけにまで成長しなさい
- ④ 今は利口じゃないだけ学びなさい
- ⑤ 神はあなたが祈ると喜びます

子がいろいろ書いた文章を学校に提出したら先生があんたの文章は面白くないと言い、書くのが大好きだった子が書くのを辞めようとした時、お母さんはその子にこう伝えました。「この花を見てご覧。まだ咲く時期ではない花は、つぼみは膨らんでいるけれど、咲いていないだろ？でも時期が着たら咲くよね！お前の文学的な才能はこのつぼみと同じよ。」あなたの文学的な才能このつぼみと同じだよと言ったのです。その子に残ったこの「文学的な才能」という言葉で目が開きました。

さあ、この子は誰でしょう？醜いアヒルを書いたアンデルセンです。ある国の幼い小さな子が学校で馬鹿にされて、僕は文章なんか書かと思っった時、お母さんの一言の言葉が肥しになったのです、この子に比べて挫折はどうだったのでしょうか。お母さんの肥やしがあったので彼は飛躍したのです。

苦難と慰めがとて大事なことです。悪があなを見つけて苦しめるなら神はその悪をも利用してあなたを成長させるための慰めと愛と祝福を与えるのです。

### さいごに

2000年前イエスがなぜ十字架にかかったのかをもう一度思い返してください。彼はあなたに慰めと肥やしを与えるために自らが肥しになったのです。あなたに癒しと回復を与えるあなたの問題と痛みを引き受けることであなたが受けた傷を取り去り、あなたはその土台の上に多量なる恵みを立てることができるようになったのです。神はあなたの人生を否定したわけではありません。芽が出て木が成長し葉を茂らせている素晴らしいことです。しかし、おかしなことに実が実らない…

神様があなたに伝えたいことはあなたの存在の否定ではなく、あなたの存在の一部に痛みがある損失なのです。根は自らを保つことができても次に実を結ぶための栄養を吸収することができなくなっているのです。そのために神は土地を掘り、もう一度実を結ぶことができるために根を新たにしようとしています。神はあなたの人生を新しくしようとしています。そんな時もしあなたの古い価値観があるなら、古い価値観は新しいものをダメにしてしまいます。

聖書はあなたがダメだと思わせたわけではないのです。神はあなたを強くしたい、どんな荒波、太陽の日差し、台風、人の攻撃、虫にも打ち勝つことができる強い実を実らせ置かれた場所で咲くことができる器に。神が私たちに願っていることは一つです。あなたの人生を悔い改めることです。

(要約者: 泉水浩)

(2023年10月29日)